



コミュニティ しずおか

2024
10月
No.176



Topics トピックス

今日は何をしようかな!

通いの場 ポレポレ(富士宮市)

▼「今日は何をしようかな」「次は〇〇をやってみたいね」と楽しい時間を過ごせるように意見を出し合い、参加者自らが居場所づくりを進めている「通いの場ポレポレ」。開始当時、用意されたプログラムに沿って時間を過ごすことに慣れていた参加者たちには戸惑いもあったそう。

▼「お友達の家にお邪魔して、楽しいひと時を過ごす。そんな気持ちで足を運んでほしい」と奈良部代表。誰かと話したり、笑ったりして気分転換をしながら、地域の高齢者同士の交流の場として活動を広げていきたい。※万野2区区民館で、毎月第2、4木曜日13時～15時まで開設。お近くの方、遊びにきてください。

◇代表:奈良部不二子さん (問合せ・090-7024-9401)

【情報提供・武井信夫】

- 地域訪問記 P2
ふらっと来て、自然の豊かさに魅了される・地域の人々に愛される自然を守る(浜松市)
- クローズアップ P6
地区社協の想いをのせた長田東ふれあいまつり(静岡市駿河区)



ミニク
のびき・しえ



左:しいのきやキッズイベント生物観察 右上:間伐作業 右下:全体作業・広場前草刈り

ふらっと来て、自然の豊かさに 魅了される・地域の人々に愛される自然を守る

浜松市
中央区

しいのきや
椎ノ木谷保全の会

航空自衛隊浜松基地正門から南へ徒歩10分。青々とした木々が生い茂る森「富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区」があります。貴重な自然を守りつつ、市民の憩いの場、環境学習の場として活用しているのが「椎ノ木谷保全の会」。倉田会長と奥様で会員の智枝さん、影山さんに活動のお話を聞きました。

椎ノ木谷という地名は無くとも、偶然訪れた人々を魅了する森

森には385種の植物、34種の鳥、211種の昆虫が生息し、小川のせせらぎ、小鳥のさえずり、虫たちの声を聞きながら散策できる小道があります。「私も主人も、散歩していて偶然この水田を見つけたのが、会に入るきっかけ

になりました。近くに住んでいるけれど、こんなに自然が残っているなんて知りませんでした。生まれ育った場所の景色を思い出します」と智枝さん。「活動していると、地元になんか自然が残っているなんて…。という声をいただきます」そう話す影山さんも現役時代は存在を知らず、散策の時に会の活動を知り、その場で入会を決めたそうです。地図に名前が無くとも、偶然訪れた人の心を動かす自然環境が、保全の会の活動によって守られています。

「椎ノ木谷保全の会」はどんな団体？

きっかけは、この地に高校のグラウンドをつくる話が持ち上がったことで、地元自治会や小学校を中心に保全

の機運が高まった。市による環境資源調査やワークショップを重ねながら、森をどう維持管理していくのが協議が進められ、平成15年に会が発足しました。会員は、小学生から70代までの60人。子どもは家族で入会している事が多く、8割ぐらいが地元の人です。多様な生物が生きられるように、草刈り、竹林や梅林の整備、歩道整備、農作物の収穫、生物調査や自然観察会、体験学習などの活動をしています。

活動は月2回。季節によって変わりますが、竹林班、梅林班、水田班、森づくり班の4つから好きな活動を選んで参加できます。その他にイベントの主催や小中学校の総合学習の時間で体験学習の講師を担っています。

地域に伝える人を育てる

「しいのきやキッズ」という親子を対象にした年4回の公開プログラムは、Facebookのみの告知にもかかわらず、毎年大人気となっています。この「しいのきやキッズ」を体験した家族が「保全の会」に入会するという流れができていますが、残念ながら小学校を卒業すると家族で抜けてしまうとのこと。

活動には、会員だけでなく浜松城北工業高校の環境部も毎月参加してくれるので、力仕事はとても助かっているそうです。その他静岡文化芸術大の学生、企業の社会貢献活動の受け入れも行っていますが、「楽しんで帰るだけでなく、この活動でいろんな方と交流し知識を吸収して、この森に興味を持ち地域に伝える人を育てたい。それが会員の維持もつながる」と倉田会長は語ります。



しいのきやキッズの田植え体験

10年後の未来について

「昔の農機具を使用した農作業のやり方を、子どもたちに伝えていける環境が続いてほしい」と影山さん。「自分たちが離れた後も維持管理が続いてほしいですね」と智枝さんも次の世代へ思いを馳せます。「希少種がしっかり残っていてほしい。椎ノ木谷は一種の博物館的な役割があるかもしれない」と倉田会長。

椎ノ木谷の魅力は、地元をはじめ浜松市内のたくさんの人に伝わっているはずだとインタビューをして実感しました。椎ノ木谷の自然に触れ、心を動かされた人、保育園や幼稚園で遠足に来ていた子どもたちや、中高生、大学生が大人になって思い出して再び携わる日が来るかもしれません。そのような未来への種まきが、ごく自然と行われているように感じました。



右から倉田さん、奥様の智枝さん、影山さん



ブログ



絶滅危惧II類のミカワバイケイソウ

◇会長：倉田^{えいじ}恵次さん(問合せ・053-474-0969)
【情報提供・中野智晴】



レポート：矢野さちこ 編集委員

松崎町

歌で人をつなぎ、まちの魅力を発信

こころうたを支援する会



美しい歌声に聴き入る参加者

▼松崎町にある伊那下神社の社務所から、毎月1回美しい歌声が聞こえてくる。主催しているのは「こころうたを支援する会」。令和3年に発足した町民有志15人からなる団体。

▼きっかけは、令和3年に松崎町に移住したソプラノ歌手のたえこさんが、町のためにと月1回「こころうた会」と銘打ったミニコンサートを開催。松崎町のPRや町民がプロの歌声を聴く機会の提供に努めてくれる姿に感動した有志が、開催準備やPR、設営や受付の協力などの支援に乗り出した。

▼「こころうた会」はZOOMでも参加できるため、視聴をきっかけに松崎町を訪れた方を森代表がガイドをすることも。こころうたを支援する会では、より多くの町民にプロの歌声に触れてもらい、これからも歌で人をつなぎまちの魅力を発信していく。

※次回の「こころうた会」は11月22日。是非松崎町へお越しください。YouTubeの「わっしょい松崎」チャンネルでたえこさんの歌声を聞くことができます。

◇代表:森 秀己さん(問合せ・090-2573-3929)【情報提供・土屋武彦】

沼津市

西浦地区で初めての納涼祭～汐風の夕べ～

西浦連合自治会
納涼祭実行委員会

▼去る8月24日、沼津市の西浦地区(670世帯)のらららサンビーチで納涼祭が開催され、西浦村時代に踊られていた「西浦音頭」の復活や花火が打ちあがり、帰省した子どもや孫、宿泊客らが真夏の夜を楽しんだ。

▼西浦地区では、毎年校区祭(運動会)を開催していたが、少子高齢化などで開催が難しくなり住民アンケートの結果、取りやめとなった。そこで「世代間交流・賑わいづくりの場による西浦の活性化」の原点に立ち返り、校区祭に代わって「西浦フェスタ納涼祭」を新たに行うことにした。スタッフは有志と役員による実行委員会形式にしたところ、平均年齢55歳と若い世代が幅広く集まった。

▼第1回目ということで、実行委員会では不安な面もあったが、参加者の「来年も開催してほしい」という声も聞こえ励みになった。西浦地区全体の新たな交流の場にしていきたい。

◇代表:真野雅樹さん(問合せ・055-942-2700)【情報提供・甲田悦隆】



浜辺ではスイカ割りゲームや盆踊りが行われた

藤枝市

世代をつなぐ地域イベント「おかべあかり展」

おかべあかり展
実行委員会



幻想的な雰囲気にもまれた会場

▼今年で、第13回目となる「おかべあかり展」が8月17日に開催され、会員の手作り竹灯籠や地元中学生が制作したランプシェード73基、住民や園児が描いた絵が貼られた行灯約200基が会場の岡部支所広場を幻想的な雰囲気に包んだ。

▼当初は、地藏縁日との同時開催や、商工会青年部の模擬店など賑わいを見せていたが、参加者の高齢化やコロナ禍による中断などにより、年々活力が低下していった。しかし、継続開催に向けたメンバーの強い熱意や、中学生や園児の作品を展示するなどの工夫により、地域住民も一緒になってあかり展を盛り上げていく形に変化していった。

▼「継続は大変ですが皆の喜ぶ顔が後押ししてくれています」と長嶋実行委員長。イベントを通して子どもたち、保護者の方とつながりができ、挨拶や声掛けなどコミュニケーションの輪が広がっている。

◇代表:長嶋利晃さん(問合せ・054-667-0155)【情報提供・梅原 仁】



掛川市

連携・協働でもっと住みよいまちづくり

睦浜地区
まちづくり協議会



昨年の芋掘りの様子、親子で和気あいあい

▼掛川市南部にある睦浜地区(915世帯)は、温暖な気候風土と緑に恵まれ気心が知れ、お互いが安心して暮らせる地域。この豊かな地域を次世代に引き継ぎ、より一層、地域主体の住みよいまちづくりを実現しようと、平成28年に睦浜まちづくり協議会が発足した。環境美化部会、活性化対策部会など6つの部会に分かれて活動している。

▼睦浜地区は、サツマイモの産地であることから、子どもたちに土に触れる体験と食育を兼ね「お芋体験学習」を実施。睦浜の子どもたちは、お隣の大坂地区にある小学校に通っているため、大坂まちづくり協議会と協働で行っている。また、大坂まちづくり協議会が開催していた、子どもと地域の大人が一緒に遊ぶ三世代交流イベントを平成30年から協働で開催し、300人近い住民が参加している。

連携・協働によってお互いの活動の幅が広がり、事務局の負担軽減などに繋がっている。

◇代表:水野正志さん(問合せ・0537-72-1115(大東支所))【情報提供・安藤ミエ】

袋井市

地域コミュニケーションカアッ!高齢者パワー

悠遊倶楽部

▼袋井市の浅羽南自治会は、40年前の新興住宅地で、現在約320世帯が住んでいる。よそからの転居者が多いため、近隣の自治会と比べて住民同士の交流が薄く、特に会社勤めの男性は隣近所もよく知らないことが多い。この現状に危機感を持った有志らが、平成28年に住民の交流・親睦・コミュニケーションを図ろうと「悠遊倶楽部」を立ち上げた。

▼平均年齢72歳の会員33人が、2か月に1回の夕食会を兼ねた会合や、年8回の美化活動等を行っている。会では、子どもたちの思いづくりにと、今まで無かったお花見会や納涼祭を企画。子ども会や祭り青年会と協働で実施したところ、若い母親たちや現役世代の男性たちとの世代間交流が生まれ地域にまとまりが出てきたそう。

▼入会は50歳以上で、壮年世代の居場所にもなっている。地域のために、動ける人が動けるときに取り組む自由な組織として今後も楽しく活動をしていく。

◇代表:鈴木和彦さん(問合せ・090-7670-5279(東原さん))【情報提供・新海智美】



パンの耳ラスクつめ放題を出店、喜ばれた

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	伊東市	別荘分譲地・リゾートマンション住民の「地域サミット」開催計画中	対島地域ふるさと協議会	別荘分譲地・リゾートマンション住民の課題の共有と解決策を探りたい。	佐藤みつ子
2	函南町	声をかけよう!みんなで行こう!このゆびとまれ!	NPO法人このゆびとまれ	学校や家庭以外の子どもの居場所として確立し、拠点として活動する。	太田輝彦
3	伊豆の国市	伊豆の国市を花の国市へ!	チームティエラ	伊豆の国市内のお花好きに呼びかけて花でいっぱいの街にしたい。	柴田三智子
5	島田市	昭和から令和へ川根町遺族会が伝える戦争の直接体験	島田市川根町遺族会	戦没者の遺族による慰霊活動と戦争体験の継承。	村松遼太郎
6	島田市	俳句振興の歴史あるまちで誕生「島田さんしょ口語自由句俳句会」	島田さんしょ口語自由句俳句会	地域の文化活動の継続振興を図り、俳句の普及による中高齢者の生きがいづくり、仲間づくり。	池田 弘
7	菊川市	西方こどもひろば	学生団体わお	こどもの居場所づくりに取り組むと同時に、多世代交流によって地域を活性化。	鈴木貴司
8	磐田市	不登校親子の居場所作り	労働者協同組合いわたツナガル居場所ネットワーク	誰もが居場所と役割を感じられる温かいコミュニティを作ること。	安部詠司
9	磐田市	福田西部地区ふれあいフェスティバル	磐田西部地区地域づくり協議会	地域住民の交流を図り「住みよいまち」とする。	安部詠司
10	湖西市	みんなで創り楽しむサマーフェスタ	白須賀地区自治会連合会	地区民が隣人愛をもって相互に助け合いながら、住みやすい環境づくりと健康で明るい社会生活づくり。	片山愛司



創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



おまつりのポスターを描き表彰される子どもたち



出店ブースはどれも大盛況福祉ならではのブースも



食べ物コーナーも大盛況

地区社協の想いをのせた長田東ふれあいまつり

長田東社会福祉協議会 (静岡市駿河区)

2,000人近い人が集うお祭りがあるとの情報を受け、「長田東ふれあいまつり」実行委員会の代表者で長田東社会福祉協議会(以下「社協」)会長の福地明雄さん、実行委員長で社協副会長の森初枝さん、広報副部長の吉田敏明さんに開催方法と「ふれあいまつり」にける想いを取材しました。

ふれあいまつりの始まり

今から30年前の平成6年3月に静岡市社会福祉協議会の地区活動組織として社協が設立され、2年後には小学校や地域の人のつながりを高めようと「長田東ふれあいまつり」が始まりました。その後、地域福祉に特化したイベントへの動きが始まり、今では、幼児から高齢者、障がいのある方、外国人など長田東地区に住むすべての人々に交流の場を提供し、地域のつながりを深める大事なイベントに発展しました。

まつりの主催は社協ですが、長田東自治会連合会と長田東小学校PTAが共催に加わり学区内の10の単位自治会や各種福祉法人、障害福祉団体、国際交流等の団体や行政機関など30を超える団体がブース出店やステージ出演します。2,000人をも超える住民が集まる大イベントですが、気になる予算は、社協の予算と80社を超える協賛企業からの協賛金で賄われます。

大イベントがスムーズに開催出来る秘密

何しろこの学校区は16,000人の住民を抱える大住宅地。このような大イベントにはさぞかし時間と人数を掛けて大変な準備作業が要るのでは?との私の先入観はいい意味で裏切られました。

森実行委員長を中心に11人のまつり実行委員会が企画や計画を策定。決定した内容は社協の各部長、各自治会等の責任者21人を加えた31人の拡大実行委員会で意

思疎通を図ります。出店団体やステージ出演団体はそれぞれが独自に計画に沿って準備を進め、当日もそれぞれが独自に運営します。社協はイベント運営に徹するのみ。負担が少ないスリムな情報の流れと円滑なまつり実行のスキームが構築されており、規模の大きなコミュニティには大変参考になる開催方法だと感心しました。

長田東社会福祉協議会の想い

最後に地域福祉、社協に対する想いを皆さんに聴いてみました。「誰一人取り残さない思いで活動しています」と福地会長。「安心して暮らせる地域づくりが求められていると感じます」森さん。「助け合いの世界。共助を大事にしたい」と吉田さん。住民の社協への理解が進むよう頑張っています。

今年のふれあいまつりは、10月19日(土)10時から、みずほなかよし公園で開催されます。今、長田東地区には、夏休みに子どもたちが描いたポスターがあちらこちらに貼り出されています。お近くにお住いの方は、是非お出かけください。



フェイスブック



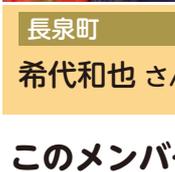
左から吉田さん、福地さん、森さん

◇会長:福地明雄さん
(問合せ・054-258-7835(みずほ公民館))
【情報提供・吉田敏明】

レポート: 峰野 勇 編集委員

コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す

この冊子は、県内各地で委嘱のお願いをした情報通信員に地域活動の情報を提供していただいております、本年度は25市町30人の皆さんに活躍していただきます。

 <p>松崎町 土屋武彦 さん ホテルの保護活動や街づくりボランティア活動に励んでいます</p>	 <p>伊東市 佐藤みつ子 さん 縁あって来た保護猫のんちゃん。元気もらってます</p>	 <p>函南町 太田輝彦 さん マイペースで常に挑戦する心で、決して無理せず老いとの戦いに挑んでいきたい</p>
 <p>沼津市南部 甲田悦隆 さん 一生映画から離れられないようにコミ活動も離れません?!</p>	 <p>沼津市北部 高村 光 さん 貴重な機会を頂きました。地域の魅力を紹介できて、幸せです</p>	 <p>伊豆の国市 柴田美智子 さん 毎日ワクワク活動しています。出会った方の活動を聞いて情報収集!</p>
 <p>小山町 秋田未来 さん 豊かな自然と、活気ある小山町を楽しくお伝えしていきます♪</p>	 <p>裾野市 志田忠弘 さん 富士山の麓、裾野市にもいる「自慢の隣人」をご紹介します!ていきます!</p>	 <p>富士市 齋藤立己 さん 小中学生の「絵画」の体験指導や成人向けの「油絵」講師など多忙</p>
 <p>富士宮市 武井信夫 さん 富士宮市で町づくり活動を地味に有言実行しています。</p>	 <p>静岡市清水区 戸塚恵美子 さん ブラックライトシアター上演中。子どもたちの反応が私の元気の源</p>	 <p>静岡市駿河区 吉田敏明 さん R5コミカレ卒業の吉田です。恐る恐る通信員になった1年生です</p>
 <p>焼津市 秋田いずみ さん ペットの防災活動に取り組んでいます!</p>	 <p>藤枝市 手島克訓 さん ほどよく都会、ほどよく田舎の藤枝市の魅力ある地域活動を紹介</p>	 <p>藤枝市岡部 梅原 仁 さん やっとみつけた「コミュニティ情報」只今発掘中!</p>
 <p>島田市川根 村松遼太郎 さん 川根に移住してはや9年。マニアックな情報を発信していきます!</p>	 <p>島田市伊太 池田 弘 さん 今できる事は今やる。興味あるものは挑戦してみる。</p>	 <p>吉田町 市川頼子 さん 子ども達と仲間の笑顔が私の力です</p>
 <p>牧之原市 武田てるみ さん 地域の暮らしは自分たちで楽しくできる!発信頑張ります!</p>	 <p>川根本町 植田直美 さん 川根本町のことを多くの皆様に知っていただけるよう頑張ります!</p>	 <p>掛川市北部 加藤和男 さん 金婚式を祝してNZ旅行、見事な氷河によりできたU字谷</p>
 <p>掛川市南部 安藤ミエ さん 市内の「まち協」の活動をたくさん紹介したいと思っています。</p>	 <p>袋井市 新海智美 さん 語り合い、触れ合う大切さを体感中。小さな思い付きでもやってみよう!</p>	 <p>磐田市 安部詠司 さん 冷暖自知を基本にしています。取材は、人との出会いを楽しみにしています。</p>
 <p>御前崎市 大竹三代治 さん 御前崎は海の幸、山の幸が揃ってます。遊びに来てみて!</p>	 <p>菊川市 鈴木貴司 さん 市民活動の情報をみなさんに届けられるように頑張っています。</p>	 <p>森町 山田勝恵 さん 取材をすることで知り合いが増え楽しいです。</p>
 <p>浜松市 中野智晴 さん 取材を通じ、私も活動のヒントを学ばせてもらっています</p>	 <p>湖西市 片山愛司 さん 地域のよさを皆さんと共有しながら、その様子を紹介します。</p>	 <p>長泉町 希代和也 さん</p>

このメンバーでお届けします!

令和6年度編集委員紹介

鈴木朝子 氏 (国会推進専門委員)
柴田和彦 氏 (県広報協会常任理事兼事務局長)

峰野 勇 氏 (コミカレ修了生)
矢野さち子 氏 (コミカレ修了生)

袋井市 中安英実 氏 (県地域振興課主査)
磐田市 白井 満 氏 (本会常務理事兼事務局長)



グランシッププレミアム クリスマス・ジャズ・ライブ Christmas Special Piano Duo

小曽根真 & アンドレ・メマリー

ブラジルの名手とタッグを組んだ 華麗な2台ピアノ Season of Passion

2024年12月20日(金) 19:00開演
会場: グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)
全席指定 / 一般6,500円 子ども・学生1,000円
チケットはグランシップホームページから↓

お問合せ: グランシップチケットセンター
054-289-9000(10:00~18:00)

地域活動に関心のある方へ! 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

★コミュニティ活動賞募集中!!

コミュニティづくりを通じて潤いと活力ある地域づくりに努力している地域の皆さんの活動を募集します。

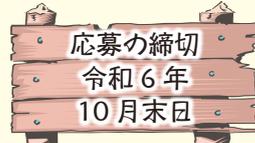
応募の対象と条件についてはHPをご覧ください。

優秀賞……賞状と副賞3万円

優良賞……賞状と副賞1万円

奨励賞……賞状

発表: 令和6年12月初旬



★デジタルサポーター育成講習会 基本・応用講座

SNSを安全便利に使いこなし

コミュニティ活動の魅力を発信してみませんか?

静岡県デジタル戦略局が進める支援事業を活用して、2か年に亘りデジタル技術の習得を支援します。詳細はHPをご覧ください。

注意事項 初心者向けのスマホ教室ではありません。

対象 地域の活動集団等に所属している方(1集団 最大3人まで)

募集人数 各会場20人(先着順) **参加料** 無料

	日時	会場
東部会場	令和6年12月11日(水) 13時30分~16時	沼津商工会議所会館 2階会議室B
中部会場	令和7年1月16日(木) 13時30分~16時	静岡県総合社会福祉会館 101会議室
西部会場	令和6年12月25日(水) 13時30分~16時	袋井南コミュニティセンター 1階ホール



常務のつ・ぶ・や・き

今夏、浜松市で地元の高校生10人と地域の大人8人が、2日間にわたり地域コミュニティについて語り合うユニークな出張コミカレを開催した。

高校生が地域のことにどれだけ関心があるのか不安だったが、小学生の頃に親しんだ伝統ある地域のお祭りを是非復活させたいとか、浜松のマチュ・ピチュに高校生を集め48時間スマホ無しで過ごすイベントを開きたいなど、地域活性化のアイデアがどれも素晴らしい。

日々、地域課題に苦悩する大人からも感心しきりで、是非うちのイベントを手伝ってとスカウトが来るほど。高校生もなかなか話す機会のない地域の大人の考えや思いを知れたり、披露したアイデアへの応援がもらえて嬉しかったとの感想。

地域の未来を担う高校生パワーを感じ、または非開催したいと思う。カリキュラムの立案と運営をお願いした飯倉清太静岡大客員教授に大感謝。

地域情報をお寄せ下さい!

静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856

静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階

[TEL] 054-251-3585

[FAX] 054-250-8681

[URL] <http://www.sizcom.jp>

[E-mail] sizucum0829@po.across.or.jp